

2018年度 春の夜間聖書講座ご案内



主の御名を賛美いたします。
 私たちの信仰の闘いは、現象こそ違っていても昔も今も変わらずに存在しています。信仰の対象であるキリストを目撃した者、その証言を聞いた人々の証言により伝統的な信仰が守られてきました。その霊的遺産の恵みに菜花先生が導いて下さいます。どうぞ、皆さんも参加して共に学んでみませんか。多くの方が受講されることをお勧め致します。

2018年3月
 北海道聖書学院院長 松元 潤

*主 題 “教父学の手ほどき”

*講 師 菜花 和男 (なばな かずお) 師

プロフィール

1951年、福島県浜通り楡葉町で生まれる。1957年、福島県浪江町アスナロ幼稚園に1年寝泊りする。1967年、福島県立磐城高校入学。1970年、1年予備校に通う。1971年、慶應義塾大学法学部法律学科に入学（国際法で卒論）。1972年、単立連盟浜田山キリスト教会で受洗。1975年、いのちのこば社入社（出版部）。1978年、聖書神学舎での研修に入る（卒論はヨブ記）。1981年、北海道福音教会協議会花園キリスト教会に赴任（函館）。1982年、高橋香と結婚。1990年、北海道福音教会協議会栄福音キリスト教会に赴任（札幌）。2011年、福島第一原子力発電所1～4号炉爆発で古里楡葉町・浪江町を失う。

*内 容

第1講	4/13	教父とは/アンテオケのイグナティオス
第2講	4/20	教父と聖書/殉教者ユスティヌス
第3講	4/27	教父と伝承/リヨンのイレナイオス
第4講	5/11	教父と哲学/テルトゥリアヌス
第5講	5/18	教父と異端/ペルペチュア
第6講	5/25	教父と神学/オリゲネス
第7講	6/1	教父と司牧/アタナシウス
第8講	6/8	教父・信仰の人/クリュソストモス
第9講	6/15	使徒教父文書 1/アウグスティヌス
第10講	6/22	使徒教父文書 2/アレクサンドリアのキュリロス

～ 講師からのメッセージ ～

教父と聞いてなにを思い浮かべるでしょうか。（え～、恐怖！）一言でいえば古代教会の信仰の証し人です。この機会に、小高毅著「古代キリスト教思想家の世界—教父学序説」創文社、1984年、を土台に、アンテオケのイグナティオス、殉教者ユスティヌス、リヨンのイレナイオス、テルトゥリアヌス、ペルペチュア、オリゲネス、アタナシウス、ヨハン・クリソストムス、アウグスティヌス、アレクサンドリアのキュリロス、使徒教父文書を取り上げ、迫害・異端・殉教をへて古代・中世・近世・現代と継承されてきたキリスト教信仰の霊的遺産について考えます。

*期 日 2018年4月13日（金）～6月22日（金）

毎 金曜日午後7時～8時40分（全10回）

*場 所 北海道聖書学院礼拝室 〒003-0831 札幌市白石区北郷1条3丁目1番61号

*受講料 10,000円（教材費を含む。2回分納可）

（部分参加割引はありません。学院賛助者カード所有者は20%割引致します。）

*受講資格 18歳以上のキリスト者

*申込期限 2018年4月6日（金）（教材の準備のため期限を早目にしています。）

*申込方法 下記申込欄に記入して郵送またはFAX（011-871-7899）でお願いします。

受講料は講座の初日に申し受けます。（電話 011-871-7892）

2018年度 春の夜間聖書講座受講申込書

ご氏名（ふりがな） _____ 性別 男 女

ご住所 〒 _____

ご連絡先/お電話 _____

所属教会 _____

受講料 一括 分納